

たかまつ市議会 レポート

REPORT

平成26(2014)年10月15日発行(第168号)

● 高松市議会ホームページ ●

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html>

高松市夜間急病診療所

9月1日に、高松市夜間急病診療所が、桜町の保健センター1階から松島町の医師会館1階へ移転しました。

これまでの内科・小児科に加え、耳鼻咽喉科と眼科を新設(曜日限定)したほか、112台収容の立体駐車場も併設され、利便性が向上しました。



移転後の高松市夜間急病診療所

平成26年
9月定例会

秋号

目次

代表質問 ……	2~4
質疑・一般質問ほか ……	5~7
情報BOX ……	8

定例会の日程

9月8日	開会・提案説明
11日	代表質問
12日	代表質問・質疑
16・17日	一般質問
18日	一般質問・特別委員会審査
19日	常任委員会審査
24日	委員長報告・採決・閉会

今定例会で決まった主な内容

- 補正予算
 - ▽ 現行の広域連携制度である瀬戸・高松広域定住自立圏から、国が進める地方中枢拠点都市圏での取り組みへ発展的移行を図るための予算
 - ▽ 公共交通ネットワークの構築に向け、地域公共交通網形成計画を策定するための予算
 - ▽ 政令の施行に伴い、水痘ワクチン及び成人用肺炎球菌ワクチンの定期接種化等を図るための予算
 - ▽ 高松市美術館を改修し、文化芸術の発信拠点としての機能を強化するための予算
 - ▽ 市民病院附属香川診療所の医療器機購入のための予算
- 条例
 - ▽ 昨年の参議院議員選挙で本市職員による不正事件が発生し、選挙制度の信頼性を損なうような大きな影響を与えたことなどにより、市長及び副市長の給料月額額の減額措置を講じるための条例制定
 - ▽ 子ども・子育て支援法等の施行に伴い、放課後児童健全育成事業及び幼保連携型認定こども園などの設備及び運営基準を定めるための条例改正
 - ▽ 水道料金の口座振替割引制度導入に伴う条例改正

〔市長提出議案〕

平成26年第5回高松市議会定例会は、9月8日から9月24日までの17日間の日程で開かれました。今定例会では、平成26年度一般会計補正予算など30議案を可決しました。また、陳情2件を不採択としたほか、人事案件4件に同意しました。

代表質問

各会派を代表して、岡下勝彦（議員会）・西岡章夫（同志会）・中西俊介（新うら紙）・大山高子（公明党）の4人の議員が質問しました。

質問の主な内容

岡下勝彦議員（議員会）
政治姿勢・選挙事務・行財政・事業系一般廃棄物処理手数料・まちづくり・防災・福祉・教育など

西岡章夫議員（同志会）
政治姿勢・選挙・財政・公共施設整備・屋島陸上競技場再整備・中小企業振興策・観光行政・農業など

中西俊介議員（新うら紙）
政治姿勢・知事選挙・財政・公職選挙法違反と職員の倫理・まちづくり・労働環境・選挙・教育・学校関係

大山高子議員（公明党）
行財政関連・救命救急対策・危険ドラッグ・子ども子育て支援新制度・農業・教育・選挙関連など

政治姿勢

知事再選後の県との連携

相互の信頼・協力関係を、より一層強固にし、重要政策の実現などに取り組み

去る8月の県知事選挙で、現職の浜田氏が再選し、県知事に就任しました。

質問 人口減少対策や経済の活性化等の諸課題に対して、知事との信頼と協力関係を、より強化すべきだが、今後の県・市間の連携は。

議員会 本市が、知事の表明した足腰の強い地域経済の確立等への取り組みの中心的役割を担うためには、より一層の信頼関係の構築が求められるが、今後の県との連携の基本的な考えは。

新うら紙 本市は、県民の4割を有する県都・中核市として、県域全体の中で果たすべき役割は大きく、市政運営には県との連携・協力は欠かせない。

今後、トップ会談等を通じ、相互の信頼・協力関係を、より一層強固にし、連携を密にしながら、重要政策の実現や主要な懸案事項の処理に取り組む。

選挙事務

公正、的確かつ円滑な事務の執行に取り組み、市民の信頼回復に努める

議員会 昨年7月の参議院選挙で、開票事務に携わった職員が逮捕されただけでなく、選挙管理委員会職員も在宅起訴され、この事態を受け、新しく就任した選挙管理委員長として、選挙事務の信頼回復に努める決意は。

議員会 このたびの事件を、厳粛に受けとめており、再発防止と選挙事務の適正化を図り、一刻も早く選挙事務への信頼を取り戻すことが私の使命である。今後、公正、的確かつ円滑な事務の執行に取り組み、市民の信頼回復に努める。



改善策が講じられた香川県知事選挙の開票所の様子

行財政

収入増加策や地域産業の活性化に積極的に取り組み、自主財源の確保に努める

議員会 今後、老朽施設による経費の増大や、合併に伴う特例措置の縮小による普通交付税の大幅な減少が見込まれているため、さまざまな自主財源の確保に努めることが重要だが、確保策の検討は。

議員会 市税の収納率向上のため口座振替制度の加入を促進しているほか、軽自動車税・個人市民税などにコンビニ収納を導入するなど、納付の利便性向上に努めてきた。今後、広告料収入などの収入増加策や将来の税取増につながる地域産業の活性化にも積極的に取り組み、自主財源の確保に努める。

議員会 本市では、ここ数年、ふるさと納税の寄附件数や金額が伸び悩んでいるため、特典の拡

議員会 今後、老朽施設による経費の増大や、合併に伴う特例措置の縮小による普通交付税の大幅な減少が見込まれているため、さまざまな自主財源の確保に努めることが重要だが、確保策の検討は。

充など同制度の充実を図るべきだが、見直しに対する考えは。
【同志会】
応援したいと思わせる工夫や、納付できる環境整備等が重要と考えるが、今後の地域活性化も視野に入れた取り組みは。
【公明党】



議員会 同制度の寄附金額が伸び悩んでいることから、より魅力のある利用しやすい制度とするため、来々年早々からの実施に向け、魅力のあるお礼品の設定や、便利な納付システムの導入などの見直しを進めている。これらの見直しにより、

地場産品や観光など、本市の魅力を全国に発信し、本市の活性化を図るとともに自主財源確保にもつなげる。

まちづくり

議員会 屋島ドライブウェイ、観光屋島の再生を図るため、通行無料化に向け、関係者と協議を進める

質問

屋島の入込客数をふやしていくためには、屋島ドライブウェイのあり方が大きな課題であるため、関係者と協議する中で、無料開放や自転車通行の可能性など、さまざまな検討が必要と考えるが、今後のあり方は。【議員会】

答

観光屋島の再生のウエイの通行無料化が必要と考えており、今後、課題の解消に向け、関係者と、さらなる協議を進める。

仏生山周辺のまちづくり

さらに魅力にあふれた地域交流拠点となるよう積極的に取り組む

質問

民間活力の導入等も視野に入れ、多核連携型コンパクト・エコシティの実現に向け、地域交流拠点にふさわしい、新病院を核とした仏生山周辺のまちづくりに対する考えは。【同志会】

答

平成25年に策定した香川県農業試験場跡地北側エリア整備基本計画において、交流機能としての地域交流センター等の整備を予定している。新病院を核とするまちづくりには、時機を捉えた着実な取り組みが重要である

ため、仏生山地区が、さらに魅力あふれた地域交流拠点となるよう、今後とも積極的に取り組む。



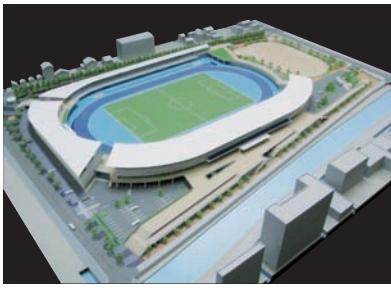
観光・スポーツ

屋島陸上競技場のオープン記念イベント

創造都市・高松ならではのイベント実施を検討

質問

屋島陸上競技場の完成にあわせ、マラソン大会も含めた記念イベント等を実施すべきだが、その考えは。【議員会】
同競技場のオープン記念事業や県内外からの参加者を集めての市民マラソン構想の考えは。【同志会】



平成29年春完成予定の屋島陸上競技場の模型

答

平成29年春完成予定の同競技場のオープン記念イベントとしてのマラソン大会は、同競技場

を含む適切なコース設定が困難なため、現在行われている高松ファミリー&クォーターマラソン・イン・庵治の記念大会としての実施も含め、実現可能な方策を検討する。

また、マラソン大会以外にも、年間を通して幅広い市民が楽しめる文化的な要素も取り入れた「創造都市・高松」ならではのイベント等の実施を検討する。

質問

来年2月のバンコクでの国際旅行博に県と連携して参加し、本市のPRに努める

質問

来年2月にタイのバンコクで国際旅行博が開催されるが、バンコクへは、直通航空便である高松―台北線によりアクセスできるので、本市も旅行博に参加し、魅力をPRすることで誘客を図る考えは。【同志会】

答

昨年7月から、タイ人の短期滞在ビザが免除となり、訪日観光客が大きく増加しているため、同旅行博に県と連携して参加し、本市のPRに努める。また、旅行商品の開発を促進するため、県とともにタイの旅行者等を招聘し、本市の観光地や魅力を紹介するなど、誘客を促進する。



防災

広島市の大規模災害を教訓に、市民への情報提供と適切な避難を呼びかける

質問

去る8月の広島市での活発な前線活動による大規模な土砂崩れや土石流での甚大な被害を受け、今後の本市の防災対策は。【議員会】

答

同災害を教訓に、災害が発生するおそれがある場合には、市民が余裕を持って避難行動がとれるよう、早目早目の情報提供と適切な避難を呼びかけるとともに、防災関係機関と一層の連携を図りながら、被害が最小限となるよう迅速な対応に努める。

夜間・休日のAED使用コンビニエンスストア等でのAED設置を各事業者に働きかける

質問

山形県の高校生が夜間の野球練習中に心臓発作で倒れ、AEDが設置されていたため、亡くなるという事故が発生した。このような事故を二度と起こさないためにも、夜間・休日でもAEDの使用可能な

環境を整備する考えは。【公明党】

答

AEDを夜間・休日でも使用できる環境を整備することは、市民の安全・安心な生活につながることから、今後、終日営業のコンビニエンスストアなどでの設置を各事業者に働きかける。



福祉

通院医療費の助成対象を拡大し、幼稚園・保育所等の利用料の多子減免を検討

質問

子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、乳幼児等医療費助成及び幼稚園・保育所等利用料減免の拡充に取り組む考えは。【議員会】
経済的な負担等、子育て世代の育見しにくい要因を社会全体で取り除くことが重要であり、乳幼児等医療費助成制度を拡充する考えは。【公明党】

【答 弁】 昨年、小学生まで

の保護者を対象に実施したアンケート調査では、医療費助成の充実のほか、幼稚園・保育所等の利用料軽減を期待する声が多く寄せられたことから、さらなる少子化対策が必要と判断し、通院医療費の助成対象年齢を、来年4月から12歳の年度末まで引き上げる。また、幼稚園・保育所等の利用料の第2子以降の多子減免は、平成28年度からの実施に向け検討する。

高齢者居場所づくり事業

高齢者の社会参加等につなげるとともに、地域包括ケアの実現を目指す

【質問】 高齢者を支える

地域づくりの一環として高齢者居場所づくり事業が始まっているが、現状での要望や課題等は。

【同志会】

【答 弁】 健康づくりや介護

方法などの要望が寄せられているほか、居場所が円滑に運営され、地域に定着するため、一定の質を確保するための人材育成などの課題がある。

今後とも、同事業の推進により、高齢者の社会参加や地域貢献等につなげると

ともに、市域全体の地域包括ケアの実現を目指す。



高齢者居場所づくり事業の様子

過労死等防止対策推進法

国・県等と連携し、過労死等の防止のための効果的な対策を推進

【質問】 本年6月に成立

した過労死等防止対策推進法では、地方公共団体は国と協力し、過労死等の防止対策を効果的に推進しなければならないとされているが、同法についての所見は。

【市議会】

【答 弁】 同法は、過労死等

を調和させ、健康で充実して働き続けることのできる社会の実現を目的として制定されたと理解している。

こうした法の趣旨に沿って、国・県等と連携し、それぞれの果たす役割を明確

にしなから、過労死等の防止のための効果的な対策を推進すべきと考えている。

認知症チェックリストの見直しを行い、認知症の早期発見に努める

【質問】 認知症対策で重

要な早期発見・早期治療のため、市のホームページで、家族や本人等が簡単に検査できる認知症チェックシート（認知症簡易チェックシート）を導入するなど、さらなる対策を図る考えは。

【公明党】

【答 弁】 昨年度作成した

ガイドブックに認知症チェックリストを盛り込みホームページにも掲載しているが、同チェックリストでは、認知症の疑いの有無等の判定は行えない。

今後、同チェックリストを、よりわかりやすく有用なものとするなどの見直しを行い、認知症の早期発見に努める。

教育

【質問】 全国的に、いじ

平成27年度より、市内全小中学校で小中連携教育に取り組む

め問題や学級崩壊

等、公立学校教育の課題が噴出する中、品川区では、全小中学校での小中連携教育等の改革を実施し、大きな成果を上げているが、本市でも、全市域で同教育に早急に取り組み考えは。

【同志会】

【答 弁】 既に同教育に取り

組んでいる高松第一学園での成果を他の小中学校に反映させるため、平成24年度から中学校区を指定し、小中連携指定校事業として2年間の実践研究を進めており、27年度には、市内全小中学校が同教育に取り組みこととしている。

今後は、すぐれた取り組みを校長研修会で紹介するなど積極的に取り組む。

いじめ防止対策

【質問】 昨年9月にいじ

め防止等の対策を推進することを目的としたいじめ防止対策推進法が施行され、地方公共団体等の責務などが定められた。同法で努力義務とされている地方いじめ防止基本方針の策定が必要と考えるが今後の対応は。

【市議会】

【答 弁】 本市では、いじめ

の未然防止や早期発

見・早期対応の観点から、現在、いじめ問題対策連絡協議会の設置や重大事態への対応なども含め、本市独自の基本方針の策定を進めている。

夏休みの活用

空調完備後のあり方について、年内を目途に検討

【質問】 本市は、今年度

末までに、改築中などを除く全ての小中学校に空調設備を設置するが、県内の一部小中学校では、学力向上などの理由から夏休みを短縮しているため、本市も夏休みを活用する考えは。

【市議会】

【答 弁】 夏休みは、児童生



質 疑

今定例会に提出された議案について、
質疑がありました。

待機児童の解消は、認定こども園等ではなく、認可保育所での対応を

岡田まなみ議員（無所属）

一 般 質 問

市政のさまざまな課題について、
14人の議員が質問しました。

整備中の都市計画道路の部分利用などで投資効果の早期発現を

落合隆夫議員（自民党）

【質問】 全体計画が長期道路の整備において、段階的に完成した道路の整備効果が早期に市民が実感することが重要だが、その方策は。

【答弁】 同道路の整備では、施工単位として工区

【質問】 認定こども園や小規模保育事業では、利用者と事業者の直接契約となり、事故が起こっても、市は直接的な責任を負わないため、市が実施責任を負う認可保育所の増設で待機児童解消を進める考えは。

【答弁】 今年度策定予定の新制度における子ども・子育て支援推進計画で

を設定し、その工区が完工した時点で、速やかに供用開始している。

今後、適切な工区設定と事業計画に沿った厳しい進行管理により、投資効果の早期発現に努める。

【他の質問】 鳥獣被害対策・不明土地所有者など



【質問】 市道高橋線の拡幅工事を早期に行う考えは

妻鹿常男議員（同志会）

【質問】 牟礼町・庵治町の住民にとって高松市内への主要道路である

は、待機児童解消のための施設整備方策として、認可保育所の創設等も含めて計画しており、それぞれ待機児童解消には、有効であると考えます。



市道高橋線は常に混雑しているが、混雑緩和策の一環として整備している市道明神永之谷線や相引川改修工事の見通しがついた現状を踏まえ、同路線の拡幅工事を早期に行う考えは。

【答弁】 同路線の拡幅工事は早期に整備する必要があると考えており、まずは、平成24年度着手の市道明神永之谷線を拡幅整備し、屋島地区の交通渋滞を緩和する環境を整えた上で、整備内容の検討を進める。

【他の質問】 発達障害のある児童生徒への対応など



高齢者の居場所づくりは、数を制限せず、より多く開設される取り組みを

三好義光議員（補選）

【質問】 高齢者の居場所づくりは、身近な地域の集会場を対象に積極的に働きかけ、開設することが重要であり、3年間で300カ所に制限せず、より多くの居場所ができるよう取り組みを考えは。

【答弁】 これらの居場所での健康づくりや介護予防などの取り組みが、地域全体に広がるのが重要なので、300カ所に制限せず、より多くの居場所の開設を期待しており、高齢者の社会参加や地域貢献等の一層の促進に努める。

【他の質問】 道路の維持管理・農業問題など



【質問】 災害発生時の道路の安全確保のため、路面下の空洞調査を行う考えは

山田 勲議員（公明党）

【質問】 去る5月に調査会社が実施した路

面下の空洞のサンプル調査で、市道約4.4km中に14カ所の空洞が発見され、その後の市の開削調査でも、明確な空洞が確認された。災害発生時の道路の安全確保は重要なため、今後、市道全体の路面下の空洞調査を行う考えは。



【答弁】 同調査には、1km当たり約10万円の費用がかかることや、近隣の中核市等では実施していないため、他都市の動向も参考に、引き続き空洞調査の実施を検討する。

【他の質問】 土砂災害対策・行財政改革など

【質問】 投票日当日の投票終了時間を18時に繰り上げる考えは

二川浩三議員（無所属）

【質問】 選挙時における期日前投票所の設置により、毎日、20時までの投票所でも投票できることや、投票時間の繰り上げも各自治体の裁量で可能であることから、投票日当

日の投票終了時間を18時に繰り上げる考えは。

【他の質問▼人口減少社会における諸課題など】



ため池守り隊市民活動支援事業の継続を
十川信孝議員（自民党）

【質問】 市街地近郊では、ため池を利用する農地の減少に伴い受益者や管理者が減少し、その保全管理が困難になっている。ため池の自然環境を守り育むため、ため池守り隊市民活動支援事業を継続する考えは。

【答弁】 同事業は、当初4年間の事業として開始し、今年度で終了予定であるが、ため池が適切に管

理されるなどの効果に加え、活動団体の意欲等も高く、事業継続の要望も出ているので、来年度以降の継続について検討する。



市ホームページ等で乳幼児のボタン電池誤飲等の事故注意情報の発信を
藤原正雄議員（自民党）

【質問】 消費者庁が乳幼児に実施したボタン電池誤飲に関する調査では、誤飲のおそれ等を知らない人が約6割もいた。子育てしやすい街高松の実現のためにも、市ホームページ等で乳幼児の事故注意情報を発信する考えは。

【答弁】 本市の子育て情報サイトを通じて、事

故注意情報が閲覧できる環境整備に努めるほか、子育て支援冊子や育児相談の場などを活用し、事故防止の情報発信に努める。

【他の質問▼ICTを活用した取り組みなど】

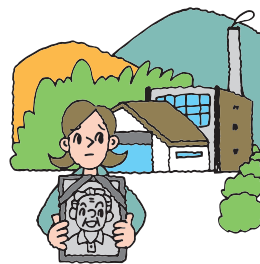
【質問】 来年50回目の節目を迎える高松まつりを、より盛り上げるため、総おどりの距離の延長や、彦根市・水戸市等のゆるキャラを招待するなど、同まつりにぎわいづくりの計画は。



【答弁】 総おどりでは、彦根市や水戸市等のゆるキャラの招待や演舞距離の延長等を検討する。また、花火大会では、打ち上げ数の増加や魅力的な構成などにより、四国ナンバーワンを目指す。

合併町の葬祭場の今後の見通しは
三野ハル子議員（神無派）

【質問】 民間の葬祭場が増加する中、市民は市営葬祭場の存続を望んでいるが、合併町の葬祭場の今後の見通しは。



【答弁】 合併後、交通の便がふえ、合併町の葬祭場の利用は減少傾向にある。しかし、同葬祭場は、地元住民の大半が利用する地域に根差した施設であるほか、高齢化の進展による火葬件数の増加などを勘案すると、必要な施設であるため、引き続き適切な管理運営に努める。

【他の質問▼子ども・子育て支援新制度など】

【質問】 行方不明になった認知症高齢者等をいち早く見つけるため、本市の地域関係団体等で構成する徘徊高齢者保護ネットワークに顔写真つき情報のメールを配信する考えは。

【答弁】 顔写真つき情報を多方面に迅速に配信でき、対象者の特徴等も正確に伝えられるなど有効な情報伝達手段であるため、今後、同ネットワークにメール配信システムを導入する。

【他の質問▼家庭教育支援の取り組みなど】



食料自給率引き上げのため麦作振興に取り組む考えは
岡田まなみ議員（無所属）

【質問】 世界では人口増につかない状況であり、日本が食料自給率を向上させることは、飢饉で苦しむ途上国への貢献にもなると考えらるが、国の自給率を50%に

答 今年秋の臨時国会に提出される空き家対策の推進に関する特別措置法案の動向を見きわめな

質問 本市の空き家対策プロジェクトチームで実施している実態調査の結果を踏まえ、独自の空き家対策を講ずるべきだが、今後の考えは。

大見昌弘議員（詔見区）
 空き家対策プロジェクトチームの実態調査を踏まえ、本市独自の空き家対策を



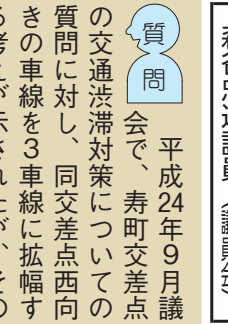
答 本市は、同品種の主要生産地であり、これまで種子の購入支援や国の交付金を活用した作付の拡大を図ってきた。今後も、食料自給率の向上を図るため、同品種を中心に麦の作付を推進する。
【他の質問】市長の政治姿勢・農業問題など

引き上げるため、本市で、さぬきの夢2009などの麦作振興に取り組む考えは。

答 今年度、拡幅部分の用地取得と補償を行い、来年度に交差点改良工事が実施できるよう、県警や道路管理者等と最終調整を進めている。

質問 平成24年9月議会で、寿町交差点の交通渋滞対策についての質問に対し、同交差点西向き車線を3車線に拡幅する考えが示されたが、その後の進捗状況は。

森谷忠造議員（詔見区）
 寿町交差点西向き車線の3車線化の進捗状況は



答 親が養育を放棄したり、養育できない状況にある子供たちを健全で自立した社会人へ育てる責任を持つのは誰か、市長の所見を。

から、同実態調査の結果も踏まえ、今年度中に本市としての対策を固める。
【他の質問】道路・防災・市税の収納・防犯灯など



質問 親が養育できない子供たちの健全育成を

岡野朱里子議員（禰区）
 親が養育できない子供たちの健全育成を

答 社会的養護が必要なのは、児童福祉法に基づき、県の児童相談所が養護施設等への入所措置などを行っている。また、本市では、子ども子育て条例に基づき、虐待の予防等に取り組むとともに相談支援体制を充実することとしており、社会的養護が必要な子供たちが健やかに育つよう、責任を持って、その成長を支援する役割があると考えている。
【他の質問】障害者権利擁護・医療と介護の連携など

交通の円滑化を図る。
【他の質問】小中一貫・小中連携教育など

賛否が分かれた議案等審議結果一覧

今定例会では、審議の結果、議案等のうち10件について、採決に当たり次のとおり賛否が分されました。賛否については、賛成の場合には○を、反対の場合は×を表示しております。

件名	議決結果等	自民党議員会	同志会	市民フォーラム21	公明党	無所属			
						二川	香川	岡田	
市長提案	平成26年度高松市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	×	○	×
	高松市塩江ケーブルネットワーク施設条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	×
	高松市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	×
	高松市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	×
	高松市社会福祉施設等の人員、設備、運営等の基準等に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	×
	高松市学校条例及び高松市保育所条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	×
	高松市子ども園条例の全部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	×
陳情	工事請負契約について(新東消防署(仮称)建設工事)	可決	○	○	○	○	○	○	×
	子どもの医療費無料化を通院も中学校卒業まで早急に拡充することを求める陳情	不採択	×	×	○	×	×	×	○
	香川診療所の拡充と存続を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	○

※全議案等の審議結果については、市議会ホームページをご覧ください。

委員会の活動など

●調査会

重要な施策などについて、常任委員会ごとに説明を受ける会で、次のとおり開かれました。

教育民生	8月1日	子ども・子育て支援新制度施行に伴う利用者負担について
教育民生 ・ 総務消防 (合同)	8月26日	こども未来館（仮称）等の整備計画の概要について
教育民生	9月19日	第6期高齢者保健福祉計画の基本理念等、高松市新型インフルエンザ等対策行動計画（案）の策定について

●議会運営委員会

今期中の議会基本条例制定に向けて、6月27日、7月11日・31日、8月8日に開き、議会運営の改善及び議会基本条例の検討について協議しました。

決算審査特別委員会

平成25年度の決算を審査するため、特別委員会を設置しました。委員は次のとおりです。

（定数10人）

◎岡野 朱里子(ヴォーラム派) ○大見 昌弘(鳥貴派)
西岡 章夫(同志会) 井上 孝志(鳥貴派)
佐藤 好邦(鳥貴派) 藤原 正雄(鳥貴派)
中村 伸一(公明党) 春田 敬司(公明党)
川崎 政信(同志会) 中西 俊介(ヴォーラム派)
(◎委員長 ○副委員長)

人事案件

次のとおり推薦に同意しました。

人権擁護委員候補者

小比賀 信正氏 松本 タミ氏
中村 文司氏 松原 綾子氏

高松市議会基本条例（素案）に関する市民との意見交換会を開催しました

去る9月23日（火・祝）午前11時から、高松市役所大会議室において意見交換会を開催し、多くの市民の皆様のご参加をいただきました。当日は、中村順一議長の挨拶の後、岡下議会運営委員長から、高松市議会基本条例（素案）の検討経過及び説明を行い、質疑応答では、市民の皆様から貴重なご質問やご意見をいただきました。今後、皆様からいただきましたご意見等を参考に、議会の活性化と開かれた議会を目指して、高松市議会基本条例の制定に向けて取り組んでまいります。

なお、意見交換会の記録は、高松市議会ホームページで11月上旬頃に公開します。

祝日の大変お忙しい中、多数のご参加をいただきまして、ありがとうございました。



市議会を傍聴してみませんか

<http://www.city.takamatsu.kagawa.jp/655.html>

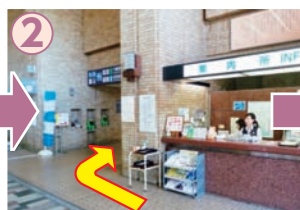
高松市議会 | 検索

市議会の本会議や委員会は、どなたでも傍聴できます。（開催については、事前に市議会ホームページに掲載します。）
なお、本会議の受付場所には以下の道順でお越しいただけます。

本会議傍聴時の受付場所への案内



1 市役所正面玄関より、お入りください。



2 入ってすぐに、案内所がありますので、右にお進みください。



3 左手にエレベーターが見えますので、エレベーターで6階にお進みください。



4 エレベーターを降りていただくと、右手に傍聴受付ががございます。

受付で、傍聴者名簿に住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取って入場してください。
傍聴席は60席のほか、車いす3台分のスペースもあります。